

# 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン (毎月決算型)

追加型投信 / 内外 / 債券

愛称  
**花こよみ**  
Hana-Koyomi



花のある暮らし、夢のある暮らし。



## ■三菱UFJ銀行からのご注意事項

◎投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。 ◎投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動リスク等があり、お受取金額が投資元本を大きく下回ることがあります。したがって投資元本および運用成果が保証されているものではありません。 ◎ご購入に際しては、ご購入手数料(ご購入代金に応じて、最高2.16%(税込))および保有期間中の運用管理費用(信託報酬)等の費用がかかります。 ◎ご購入に際しては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」により商品内容を必ずご確認ください。上、ご自身でご判断ください。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、三菱UFJ銀行の本・支店までご請求ください。

■お申込み・販売会社は



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号  
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当行の苦情処理措置および紛争解決措置は  
一般社団法人全国銀行協会または特定非営利活動法人証券  
金融商品あっせん相談センターを利用します。  
全国銀行協会相談室 0570-017109 / 03-5252-3772  
証券金融商品あっせん相談センター 0120-64-5005  
受付時間：月～金曜日 / 9:00～17:00 (祝日・12/31～1/3等を除く)

■設定・運用は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

ともに、その先へ。

## ファンドの目的

世界主要国の債券を実質的な主要投資対象とし、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。

## ファンドの特色

特色  
1

世界の主要国<sup>\*</sup>のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。

- 相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、最も利回りが高いと判断される国に重点配分します。ただし、市場環境等を勘案し一定の範囲内で変更することがあります。なお、毎月、投資国および配分比率の見直しを行い、必要に応じて入替えを行います。
- 投資対象とする債券の種類は、各国の国債、政府保証債のほか、オーストラリアの州政府債および各国通貨建ての国際機関債とします。
- ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択します。

\*ファンドにおける世界の主要国とは、原則としてシティ世界国債インデックスの構成国、および同指数の参考国のうち、投資対象国として適切と委託会社が判断した国を指します。ただし、将来変更されることがあります。また、同指数はファンドのベンチマークではありません。

シティ世界国債インデックスとは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

特色  
2

実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

特色  
3

毎月の分配をめざします。

- 毎月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

### 〈ファンドの仕組み〉

運用は主に三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンドへの投資を通じて、世界主要国の債券へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

### 〈主な投資制限〉

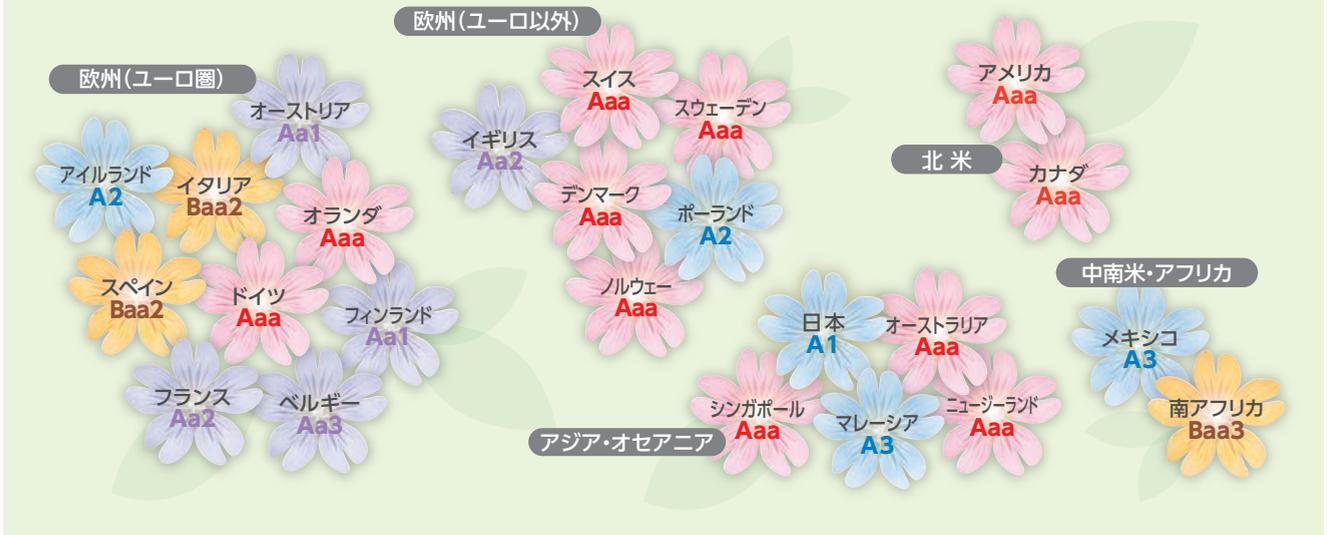
- ・外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドのリスクについては、「投資リスク」をご参照ください。

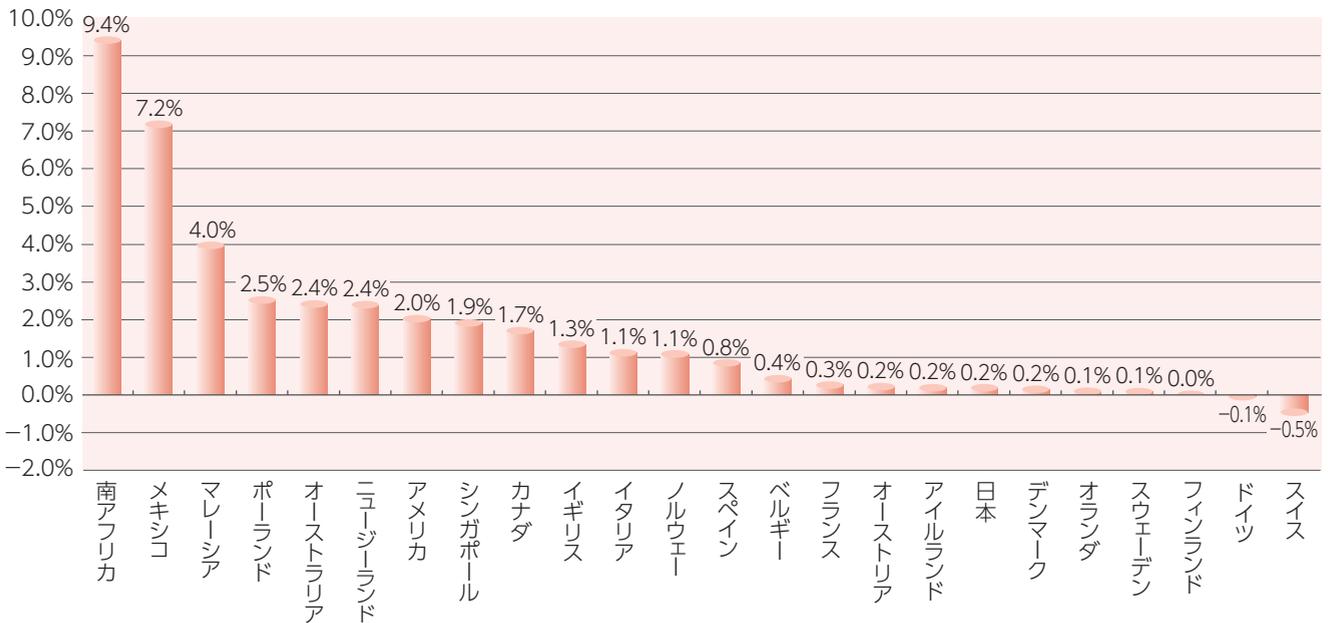
## 世界の主要国と信用格付け

格付け(長期信用格付け)は、発行される債券の元本返済・利払いの確実性を評価して、その度合いについて一定の記号を用いてランク付けしたものです。格付けは2017年10月末現在のMoody'sの国債の自国通貨建長期信用格付けです。なお、下記はMoody'sの信用格付けであり、他の信用格付け会社の信用格付けは下記と異なる場合があります。今後、各国の政治経済環境により格付けは変更されることがあります。



### 〈ご参考〉主要国の国債利回り

(2017年10月末現在)



※上記はシティ世界国債インデックスにおける各国の最終利回りです。なお、ニュージーランドは同指数の参考国です。各資産は為替やその他の特性を考慮しておらず、利回りだけで単純に比較できるものではありません。

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

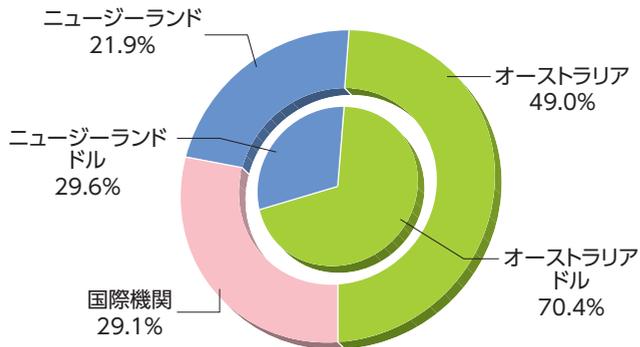
上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

# 運用実績

最新の運用実績は委託会社のホームページ等にてご確認ください。

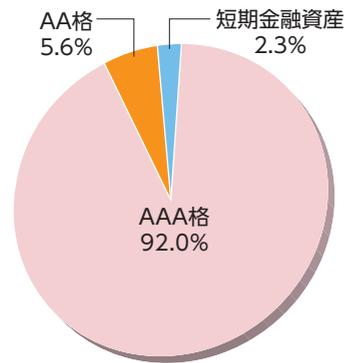
## ファンドの通貨別・国別投資比率

(2017年10月末現在)



## ファンドの格付け別投資比率

(2017年10月末現在)



通貨別・国別投資比率は現物債券評価額に対する割合(なお、純資産総額に対する現物債券組入比率は97.65%)、格付け別投資比率は純資産総額に対する割合です。国際機関はオーストラリアドル建ておよびニュージーランドドル建ての債券です。原則として、個別銘柄格付けを採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証債などについては、三菱UFJ国際投信の分類基準に基づいて、ソブリン格付け(国の発行体格付け)を採用しているものがあります。格付け別投資比率は格付投資情報センター(R&I)、日本格付研究所(JCR)、S&P、Moody'sのうち最も高い格付けを表示しています。

四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

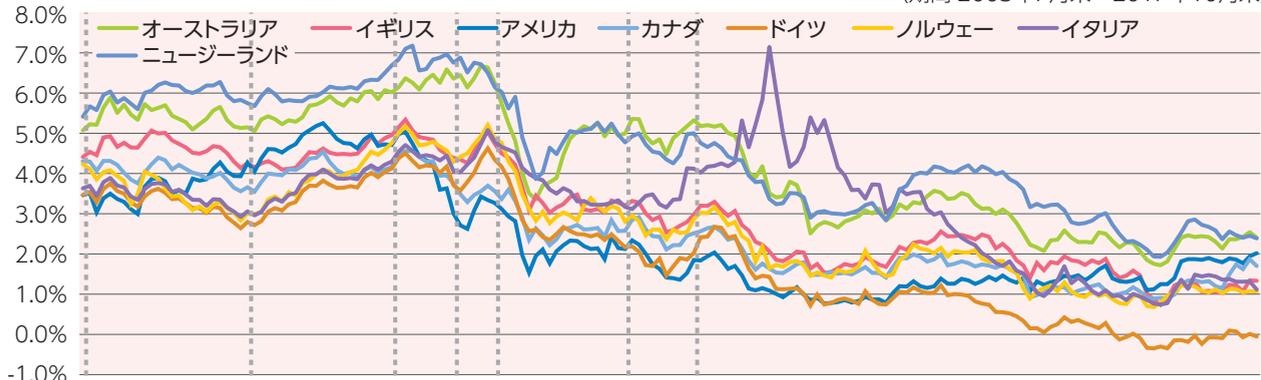
(出所)三菱UFJ国際投信作成

## マザーファンドの設定来の通貨配分と主要国の国債利回りの推移

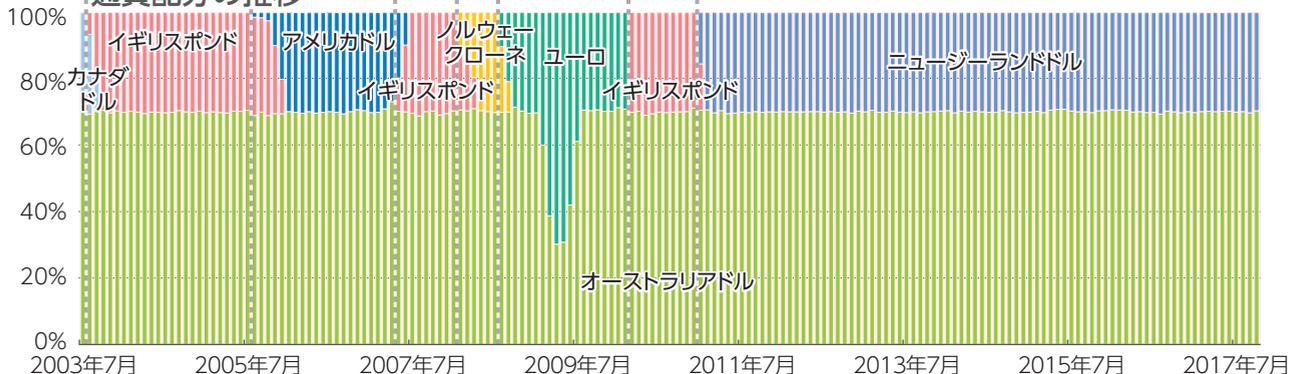
● 設定来、2~3カ国に重点投資してきました。(2017年10月末現在)

### 主要国の国債利回りの推移

(期間:2003年7月末~2017年10月末)



### 通貨配分の推移



※各国の国債利回りは、シティ世界国債インデックスにおける各国の最終利回りの推移を表示しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。なお、ニュージーランドは同指数の参考国です。

比率は現物債券評価額に対する割合です。

(出所)Bloombergのデータ等を基に三菱UFJ国際投信作成

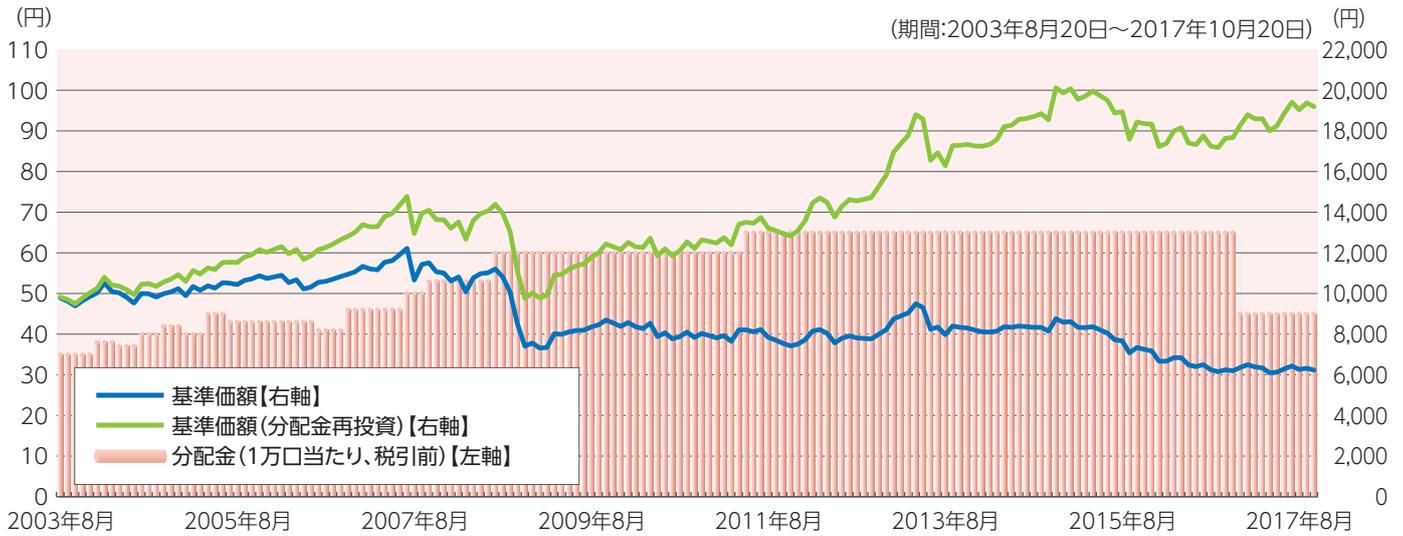
上記通貨配分の推移グラフは、当ファンドの主要投資対象である「三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド」の設定来の運用状況を示したものであり、当ファンドの運用実績を示すものではありません。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。

# 運用実績

最新の運用実績は委託会社のホームページ等にてご確認いただけます。

## ファンドの基準価額・分配金の推移



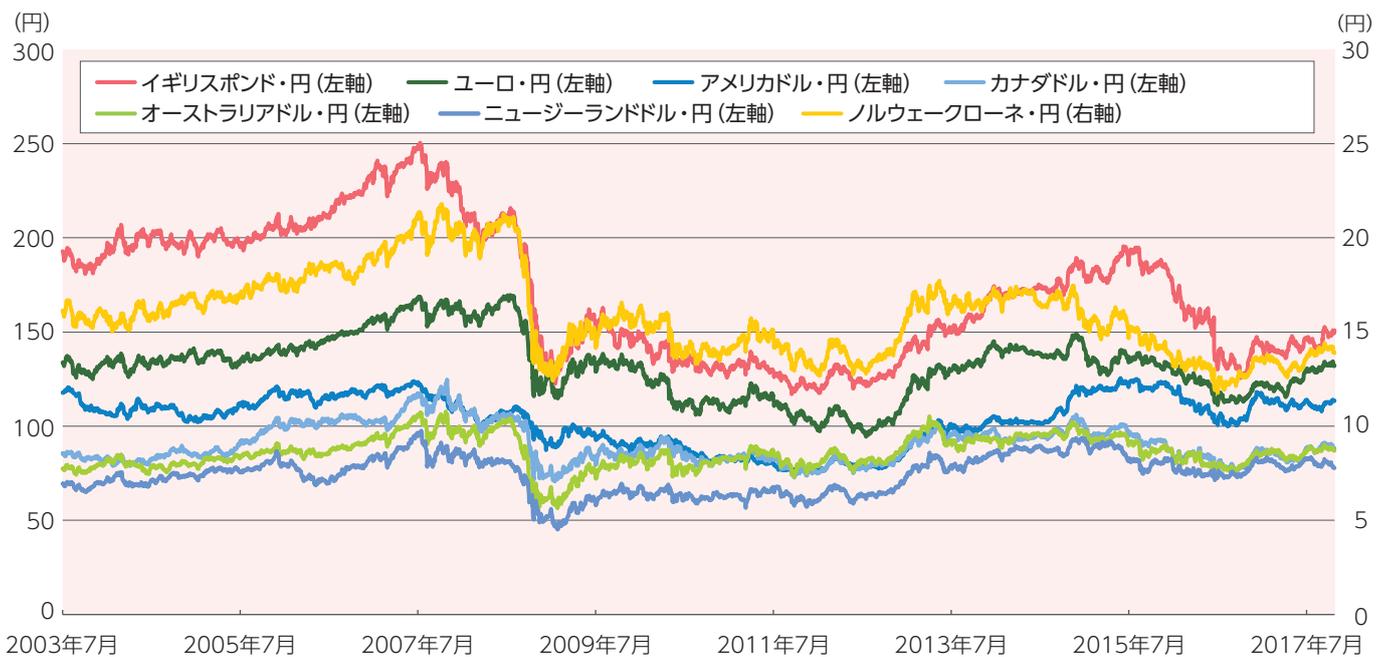
設定来の分配金累計(税引前)(2017年10月末現在)	9,466円	純資産総額(2017年10月末現在)	151,854 百万円	
直近3年間の分配金実績(1万口当たり、税引前)	2014年11月～2016年11月	65円	2016年12月～2017年10月	45円

(出所)三菱UFJ国際投信作成

上記は各決算期時点の基準価額、基準価額(分配金再投資)の推移と、分配金の推移を表したものです。基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

## 〈ご参考〉 主要国通貨の為替(対円)推移

(期間:2003年7月9日～2017年10月31日)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

### 投資信託から分配金が支払われるイメージ

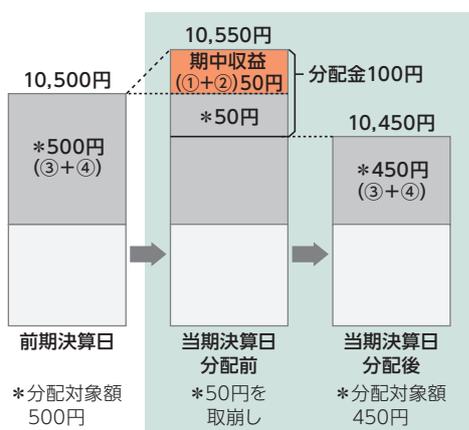


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

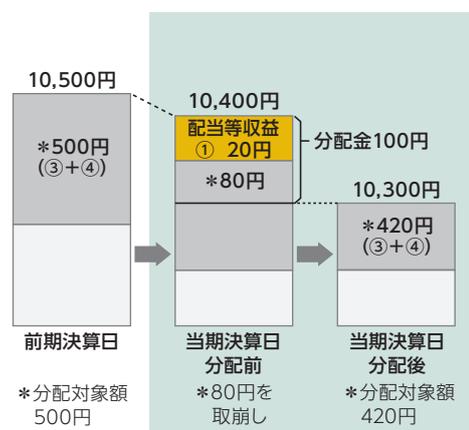
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算日から基準価額が下落した場合



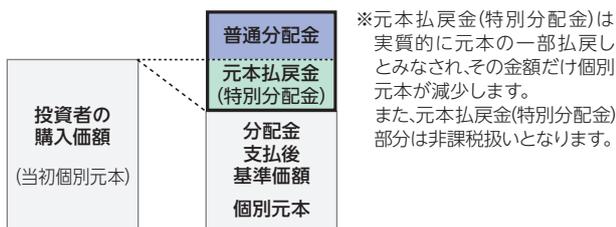
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

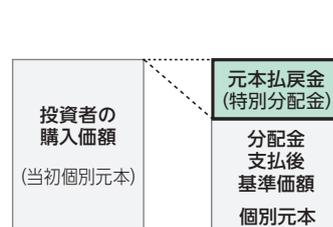


普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



## 購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

### [金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

### [口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくこととなります。

# 投資リスク

## ■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

### 価格変動リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

### 為替変動リスク

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

### 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

### 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

## ■ その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

## ■ リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

**お申込みメモ**

<b>購入時</b>	<b>購入単位</b> 分配金再投資コース(累積投資コース):1万円以上1円単位 購入単位には購入時手数料(税込)が含まれます。 くわしくは、三菱UFJ銀行のホームページをご覧ください。
	<b>購入価額</b> 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。
<b>換金時</b>	<b>換金単位</b> 1円以上1円単位、または1口以上1口単位、または全部。
	<b>換金価額</b> 換金申込受付日の翌営業日の基準価額 <b>換金代金</b> 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
<b>申込について</b>	<b>申込不可日</b> 次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・毎年復活祭(Easter Day)に該当する日の前営業日および翌営業日 ・毎年クリスマス(12月25日)および翌営業日
	<b>申込締切時間</b> 原則として、午後3時までには受付けたものを当日の申込分とします。
	<b>換金制限</b> ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに関し制限を設ける場合があります。
	<b>購入・換金申込受付の中止および取消し</b> 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
<b>その他</b>	<b>信託期間</b> 無期限(2003年7月9日設定)
	<b>繰上償還</b> 受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
	<b>決算日</b> 毎月20日(休業日の場合は翌営業日)
	<b>収益分配</b> 毎月の決算時に分配を行います。 ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少および基準価額の下落要因となります。 収益分配金は税金を差引いた後、原則として再投資されます。 ※分配金を再投資せず、お客様の指定口座にご入金するお取扱いを希望される場合は、分配金出金(定期引出契約)をお申込みください。
<b>課税関係</b> 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。	

**ファンドの費用**

◎お客さまが直接的に負担する費用

<b>購入時</b>	<b>購入時手数料</b>	購入金額(購入価額×購入口数)×手数料率で得た額 手数料率は、購入代金(購入金額+購入時手数料(税込))に応じて以下の率とします。	
		購入代金	手数料率
		1,000万円未満	2.16%(税抜 2%)
		1,000万円以上1億円未満	1.62%(税抜 1.5%)
		1億円以上	1.08%(税抜 1%)
		※インターネット取引でご購入の場合は、上記手数料率から10%優遇。	
<b>換金時</b>	<b>信託財産留保額</b>	ありません。	

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

<b>保有期間中</b>	<b>運用管理費用(信託報酬)</b>	日々の純資産総額に対して、 <b>年率1.188%(税抜年率1.1%)</b> をかけた額
	<b>その他の費用・手数料</b>	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

**三菱UFJ国際投信株式会社****お客さま専用フリーダイヤル****0120-151034**

(受付時間/営業日の9:00~17:00)

●ホームページアドレス <https://www.am.muft.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

**三菱UFJ信託銀行株式会社**

販売会社(購入・換金の取扱い等)

**株式会社三菱UFJ銀行 他**

販売会社は、上記の三菱UFJ国際投信の照会先でご確認いただけます。

**本資料に関してご留意いただきたい事項**

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。